

令和8年度地域コミュニティ協議会（二山校区）の議事録について

日 時：5月27日（水）18時30分～19時15分

場 所：円明寺が丘自治会館

出席者：（大山崎町役場）前川町長、南教育長

浅田総務部長、沖健康福祉部長、藤波環境事業部長、武田教育次長

事務局：中村企画財政課長、柳瀬企画観光係リーダー

町内会・自治会長8名、自主防災組織代表者1名、民生・児童委員1名

1. 開会、あいさつ

2. 町から説明

資料① 主な年間行事及び担当窓口について

別添資料参照。

資料② 地域コミュニティ協議会（二山校区）について

●組織の定義

各小学校区を単位とし、町内会・自治会および地域で活動する各種団体等により構成される組織である。

●設置の意義と必要性について

町内会・自治会における担い手不足や運営状況の地域格差という課題を解決し、地域運営を持続可能にするため、単独活動ではなく団体同士が相互に助け合えるネットワークを構築することを目的とし、行政と住民が対等な立場で課題解決を図る仕組みとして設置したものである。

●運営方法について

- ・将来的には住民が主体となって運営方法を決定する形を目指す。
- ・「事務負担の増加」については十分承知しており、当面は町が会議運営等の事務を担い、負担を軽減する体制をとる。
- ・今後は小学校PTAや懇談会参加者など、参画団体を拡大できるよう調整を進める方針である。

《質疑応答》

Q：具体的に我々とどのようなことを実施するのか。

A：年1～2回の懇談を通じて住民の意見を吸い上げ、地域事業の検討につなげることを出発点とする。

周辺自治体の事例（長岡京市など）も参考にしつつ、住民負担に配慮し、自立運営が可能になるまでの数年間（4～5 年程度）は、当面の間、町が運営を主導する。

二山校区で既に行われている夏祭りのような既存の組織・行事を活用し、コミュニティ協議会と連携したい。

将来的には協議会が自立し、町からの補助金を活用して地域事業を行える体制を目指す。活動資金の一部をコミュニティ協議会へ振り分けるなどの柔軟な運用を含め、具体的な仕組みは今後住民側で検討・判断していただく。

Q：現行の平日 18 時半という開催時間は、子育て世代や就労世代にとって参加が困難である。多くの住民が参加できるよう、土日開催や開始時間など、柔軟な開催日程を検討してほしい。

自治会の加入率が低下する現状に対し、改めて「自治会の役割とは何か」「なぜ加入が減るのか」を根本から再考する機会が必要である。

高齢化が進む中で、住民同士の「顔が見える関係」を維持することは重要であり、コミュニティ協議会がその受け皿となるべきである。他市の先進事例（長岡京市など）も参考に、具体的な協議内容を詰めていくべきだと考える。

地域に多いテラス住宅は、老朽化に伴い切り売り等の動きが出ており、次世代への継承や処分の面で大きな課題となっている。

A：平日 18 時半という設定が参加の障壁となっている現状を認識しており、今後は土日開催やオンライン活用を含め、参加しやすい環境づくりを検討する。

コミュニティ協議会を通じて、地域で住民同士が「顔が見える関係」を築ける組織づくりを目指していく。

当該住宅は個人の所有物であるため、町が強制的に関与することはできない。あくまで「縁の下での力持ち」として、法的知識の提供や相談等支援を行う。

5 年前よりテラス住宅および 4 階建て住宅それぞれの懇談会・勉強会を順次実施しており、現状の課題整理やルールに関する情報提供を行ってきた。

Q：小泉橋の西側に広報看板があるがフレームだけになっており、危ないので撤去していただきたい。

A：場所を確認のうえ、適切な対応をさせていただく。